

外部参照

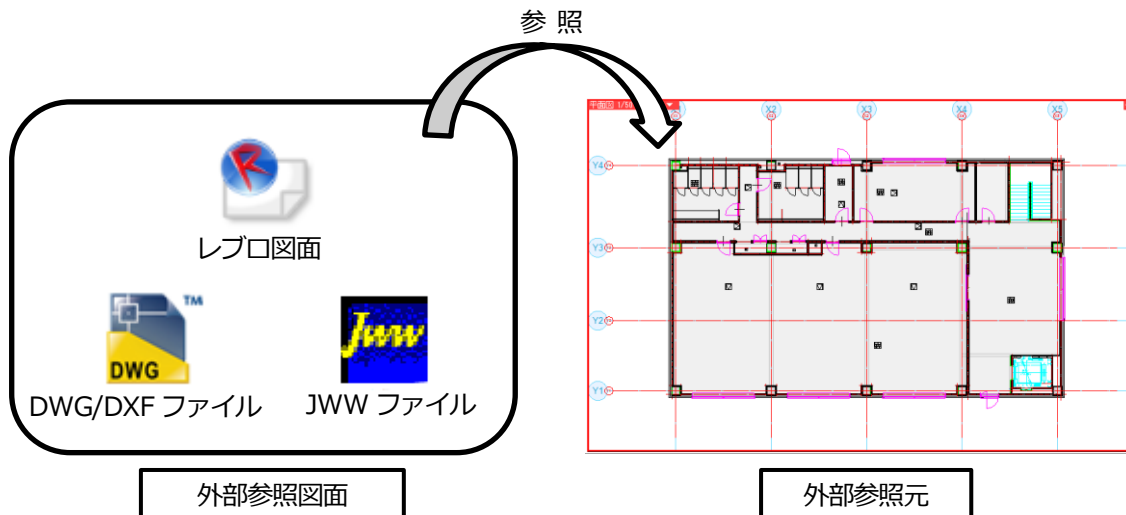
目次

1.外部参照とは.....	2
2.外部参照の設定.....	3
レプロ図面を外部参照に設定する	
DWG/DXF/JWW 図面を外部参照に設定する	
3.外部参照の位置変更.....	9
4.外部参照のレイヤー設定.....	11
表示・検索・印刷・塗りの設定	
色、太さ、線種の設定	
Excel のセル位置指定/配置	
5.外部参照の更新.....	15
6.外部参照に対応しているコマンド.....	16
7.外部参照の受け渡し.....	21
外部参照図面の取り込み	
外部参照図面の取り込みの解除	

1.外部参照とは

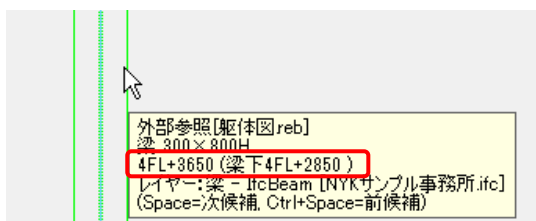
外部参照は別の図面ファイルを参照して表示することができます。要素の読み込みをしていないため、図面容量を抑えることができます。

参照できるファイルはレプロ図面(*.reb)、DWG ファイル(*.dwg)、DXF ファイル(*.dxf)、JWW ファイル(*.jww)です。



外部参照図面の参照元での取り扱いは下記ようになります。

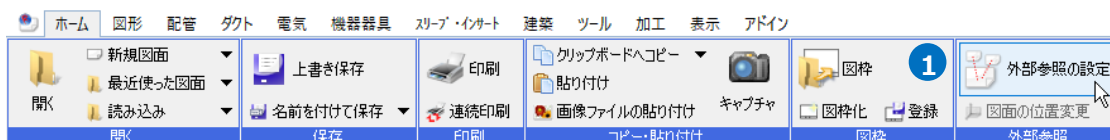
- ・要素選択はできますが、編集はできません。
- ・プロパティの確認や、アラウンドビュー、CG への表示ができます。
- ・通り芯は、ラバー表示のみ表示することができます。
- ・単線/複線の表現は、外部参照図面のデフォルト値が参照されます。(個々のビューごとの設定は反映されません。)
- ・外部参照図面は、常に最背面に表示されます。複数のファイルを参照している場合は、新しく設定したファイルが上になります。([外部参照の設定]ダイアログに表示されている順序とは異なります。)
- ・座標指定は、線の端点など有意味な点が指定できます。
- ・外部参照を選択した時は黄緑色の表示になります。([設定]-[表示]-[システム色]で色の変更が可能です。)
- ・要素選択時、「全て選択」「選択要素の拡張」「選択の反転」「ルート選択の拡張」「ルートの区間選択」「部材選択の拡張」では選択されません。
- ・プロパティやツールチップに表示される「基準フロア」や「高さ」などは、外部参照図面で設定されている値が表示されます。



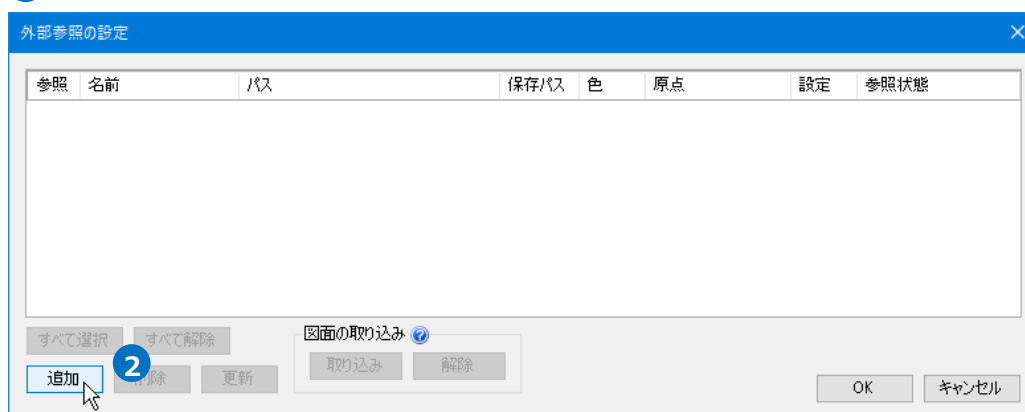
2.外部参照の設定

レブロ図面を外部参照に設定する

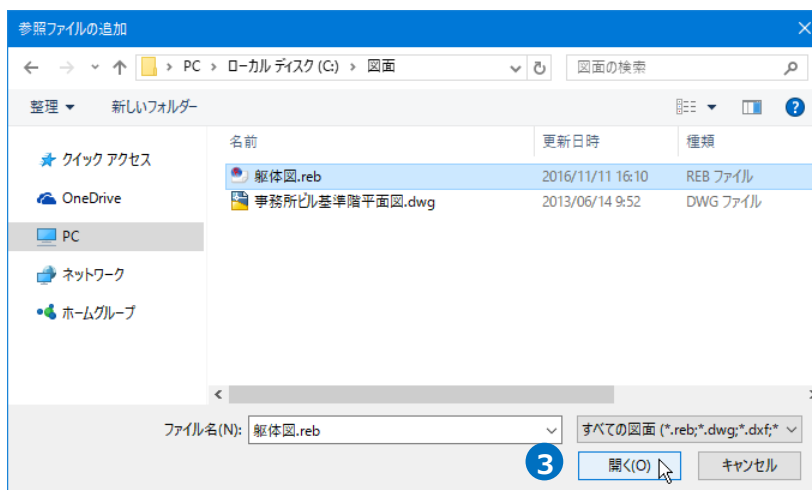
① [ホーム]タブ-[外部参照の設定]をクリックします。



② [追加]をクリックします。



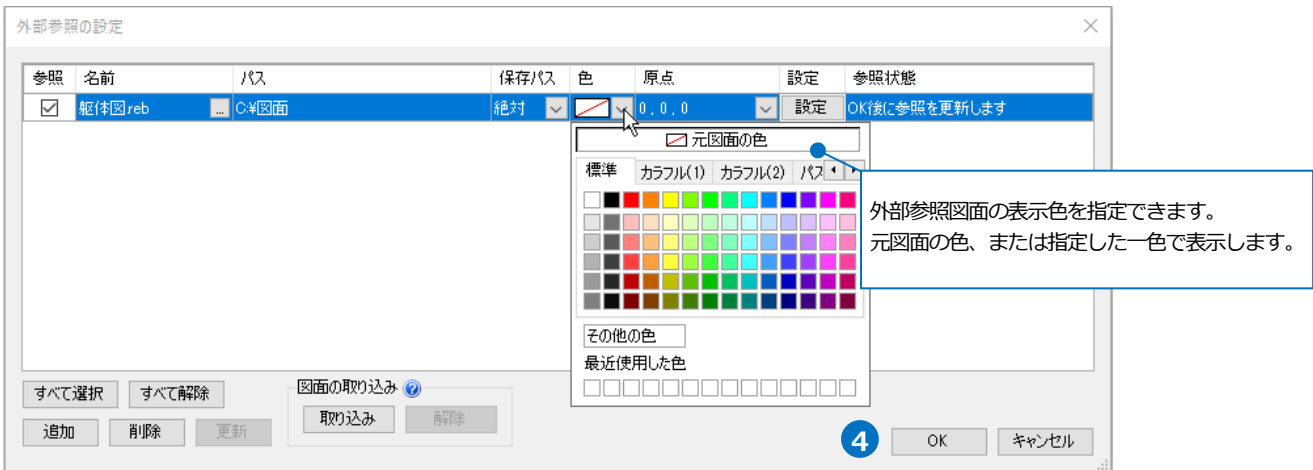
③ 外部参照するファイルを選択し、「開く」をクリックします。



● 補足説明

図面の保存バージョンが「Rebro2008 SP3」より古い場合は読み込むことができません。「Rebro2011」以降のバージョンで保存し直してから外部参照の設定をしてください。

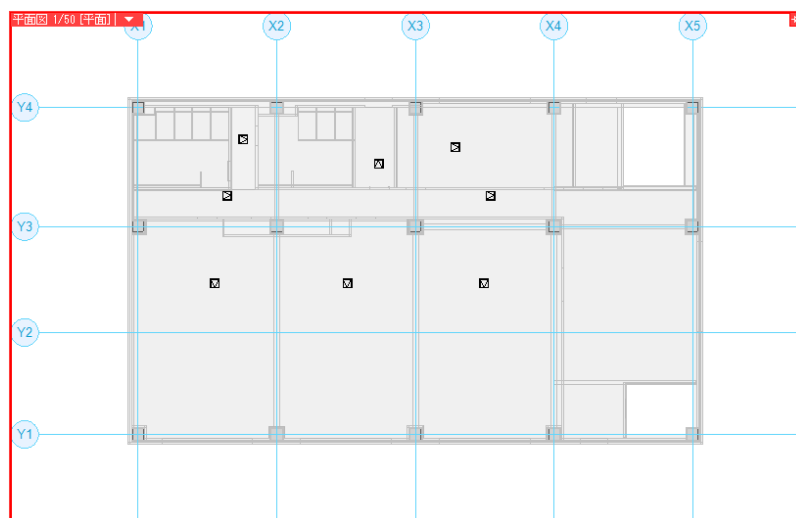
4 [色]で表示色を設定します。



5 [設定]をクリックし、[読み込み設定]の内容を設定して[OK]をクリックします。



6 外部参照図面が反映されます。



● 補足説明

外部参照したレプロ図面(*.reb)の2Dデータは、外部参照図面の[プロパティ]で設定されている表示モードが反映されます。変更するには直接外部参照図面を変更します。

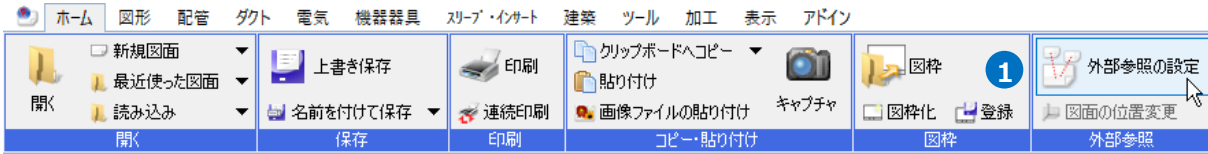
線	
外部参照	
ファイル名	躯体図.reb
原点	0, 0, 0
共通	
名称	線 (98359)
注釈	
レイヤー	図形
ペーパー/モデル	モデル
ビュー共通/専用	ビュー専用(平面図)
デザイン	
色	レイヤー色 (white)
太さ	レイヤー太さ (0.01mm)
線種	レイヤー線種 (実線)
CG色	レイヤーCG色 (灰色(50%))
形状	
長さ	1620 mm

ビューの表示モードは下記の3つから指定できます。

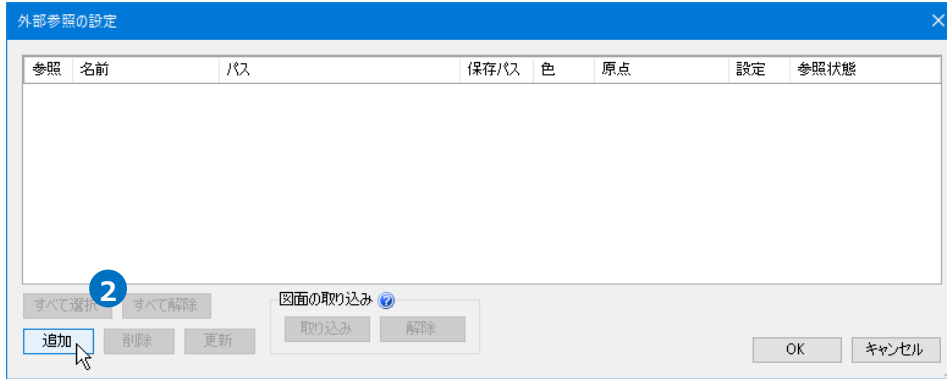
- ・ビュー共通:
すべてのビューに表示します。CGにも表示されます。
- ・平面ビュー共通:
視点方向が平面のビューすべてに表示します。
- ・ビュー専用:
指定したビュー名のビューにのみ表示します。
参照元で表示するビューのビュー名に合わせると表示
できます。

DWG/DXF/JWW 図面を外部参照に設定する

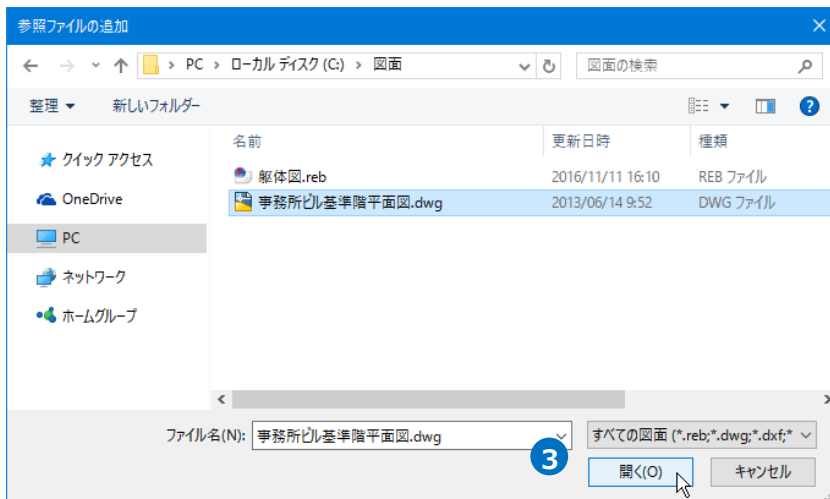
1 [ホーム]タブ-[外部参照の設定]をクリックします。



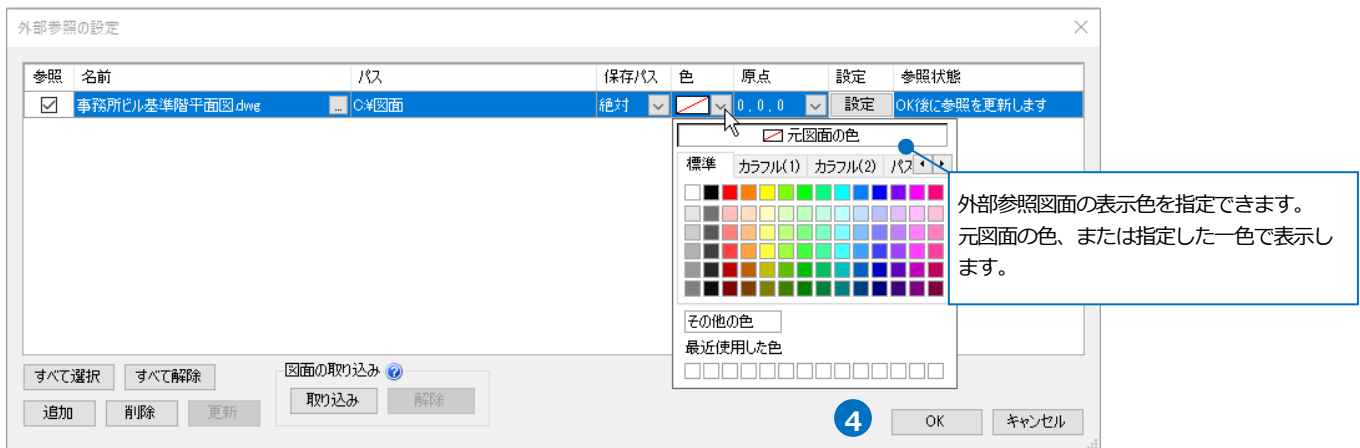
2 [追加]をクリックします。



3 外部参照するファイルを選択し、「開く」をクリックします。



4 [色]で表示色を設定します。



5 [設定]をクリックし、[読み込み設定]の内容を設定して[OK]をクリックします。

外部参照の設定

参照	名前	パス	保存パス	色	原点	設定	参照状態
<input checked="" type="checkbox"/>	事務所ビル基準階平面図.dwg	C:\図面	絶対		0, 0, 0	設定	OK後に参照を更新します

5

読み込み設定

図面の編集

- 図面を拡大して読み込む 1倍
- 図面を回転して読み込む 0°

ビュー

- ビュー共通
- 平面ビュー共通
- ビュー専用

平面図

レイヤー

- 非表示のレイヤーを読み込まない

文字

文字サイズの設定

塗り

塗りを ページ塗り で読み込む

OK キャンセル

ビューの表示モードを指定します。

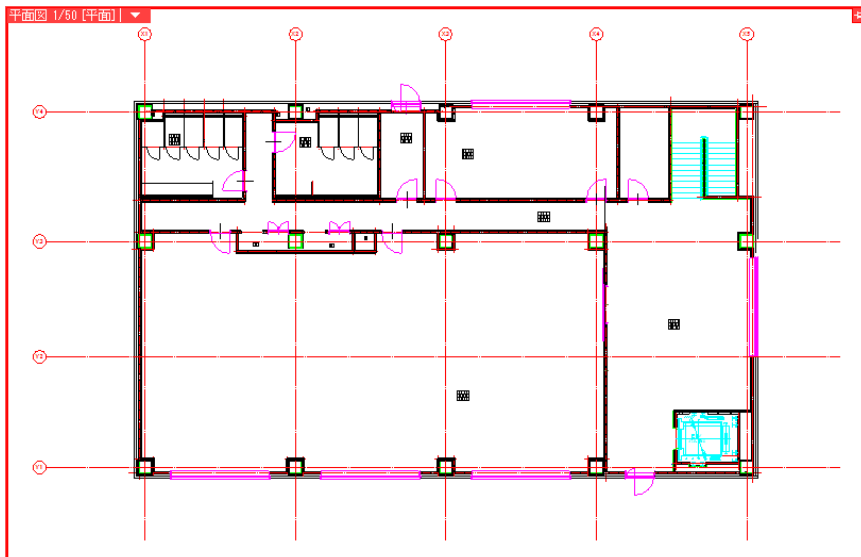
- ・ビュー共通:
すべてのビューに表示します。
CGにも表示されます。
- ・平面ビュー共通:
視点方向が平面のビューすべてに表示します。
- ・ビュー専用:
指定したビュー名のビューにのみ表示します。
参照元で表示するビューのビュー名に合わせると表示できます。

チェックを入れると、参照する図面の大きさを変更、向きを回転させて読み込むことができます。

チェックを入れると、外部参照図面で非表示にしているレイヤーは読み込みません。

チェックを外すと、外部参照図面で非表示にしているレイヤーを外部参照元でも非表示の状態を読み込みます。

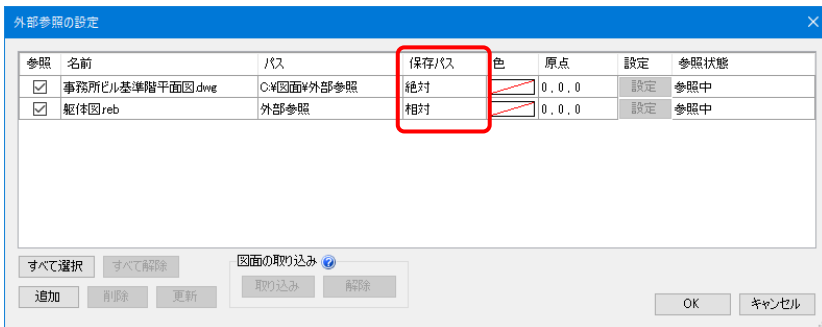
6 外部参照図面が表示されます。



● 補足説明

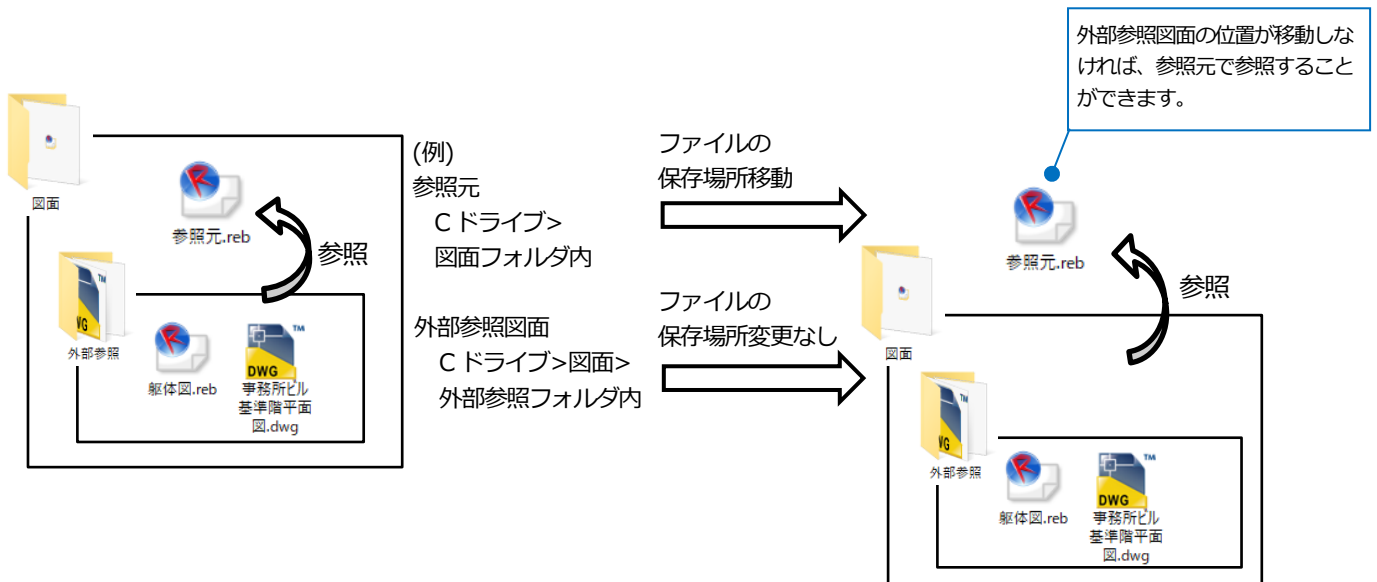
保存パスの設定

外部参照図面の保存パスには、「絶対」と「相対」があります。



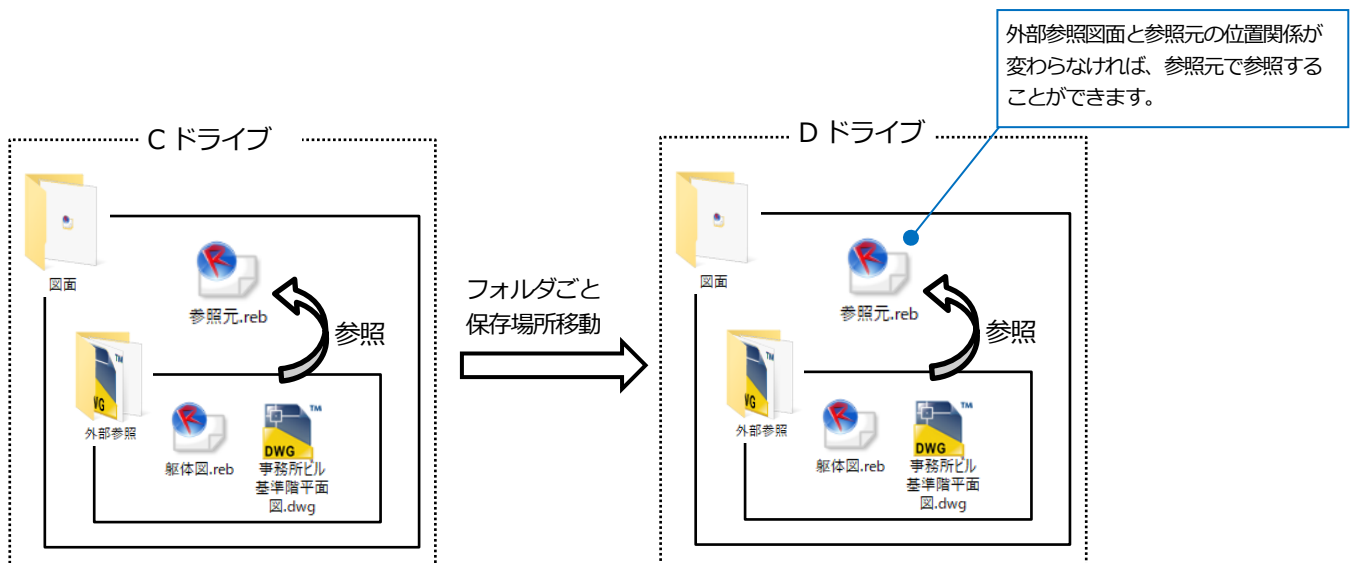
「絶対」は、PC名やドライブを基点とし、参照元の図面がどこにあっても同じ位置を指します。

そのため、外部参照元の図面ファイルを別の場所に移動や保存しても参照することができます。ただし、外部参照図面を別の場所に移動した場合は、参照することができません。



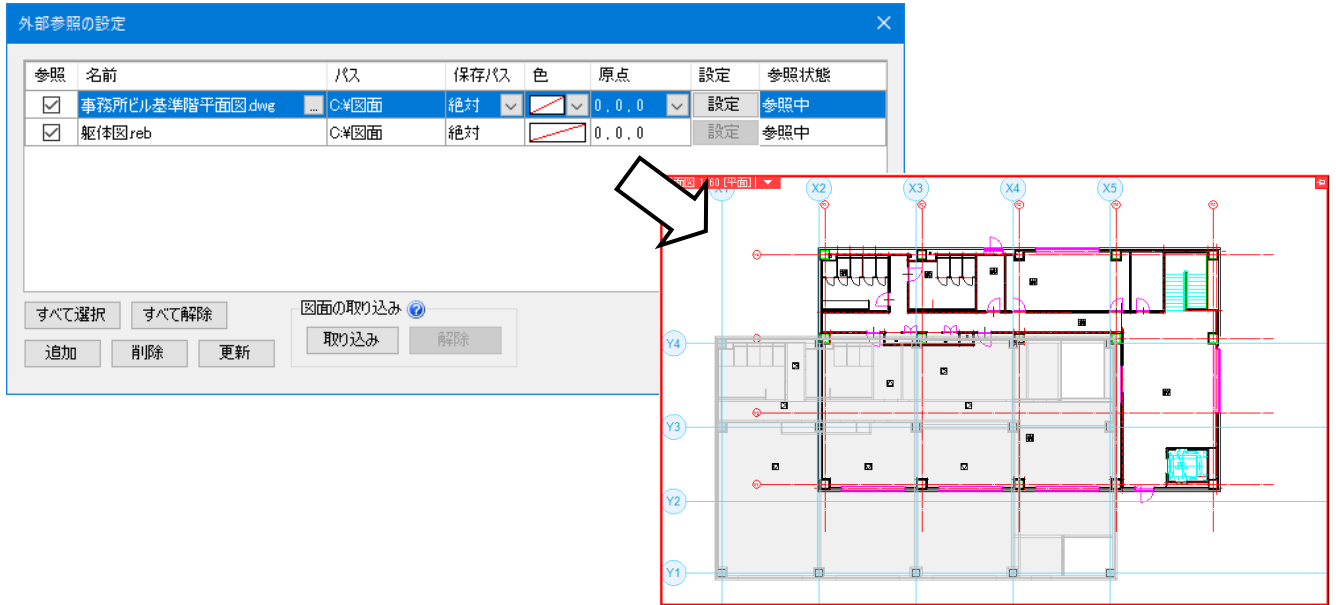
「相対」は、参照元の図面からの相対位置を指します。

外部参照図面と外部参照元の図面の位置関係を変えずに図面ファイルを移動した場合、参照することができます。

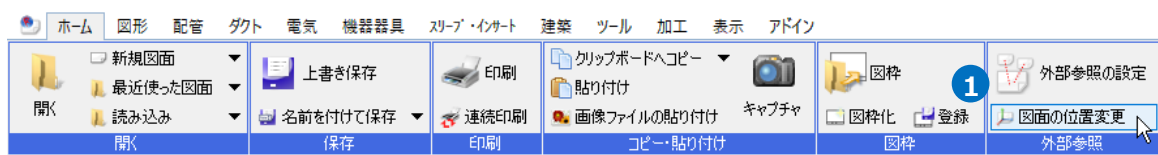


3.外部参照の位置変更

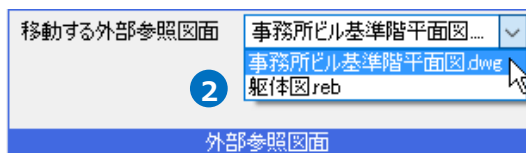
外部参照図面の位置を移動します。



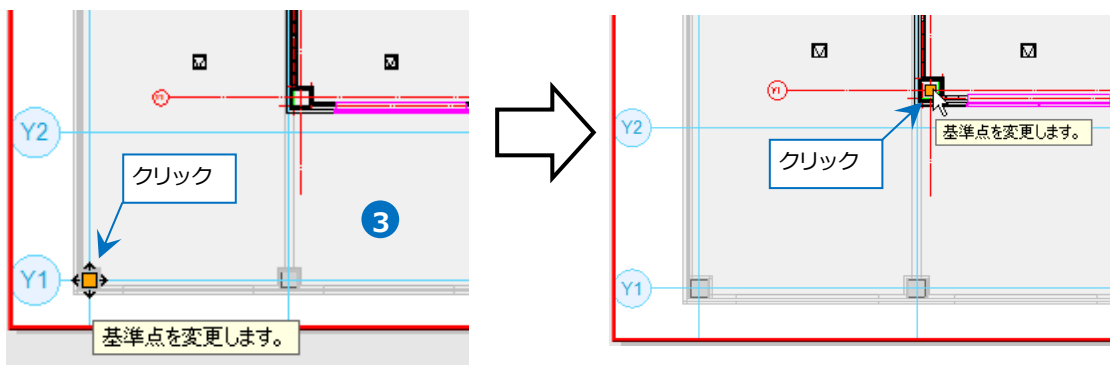
1 [ホーム]タブ-[図面の位置変更]をクリックします。



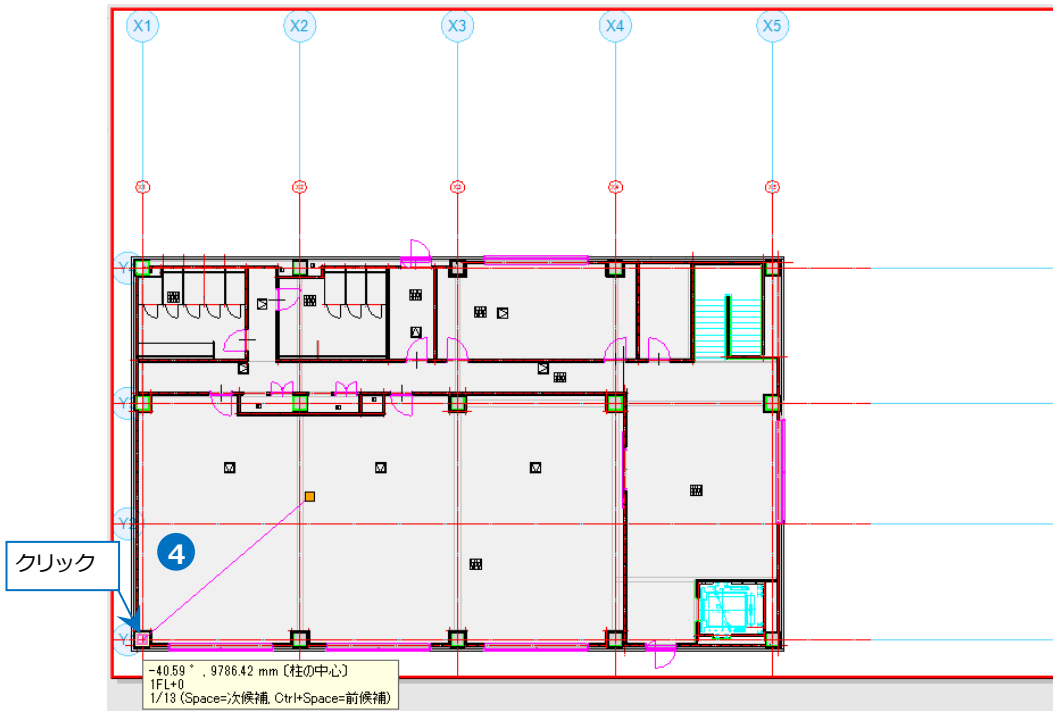
2 リボンから移動する外部参照図面を選択します。



3 移動時の基準点をハンドル（オレンジ）をクリックして変更します。



4 移動先を指定します。

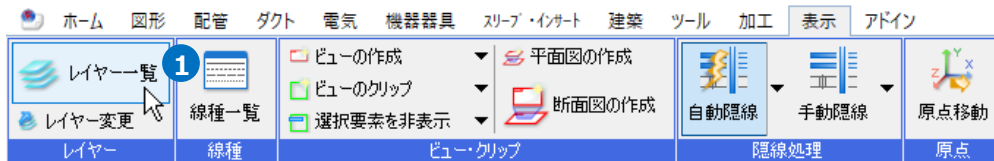


4.外部参照のレイヤー設定

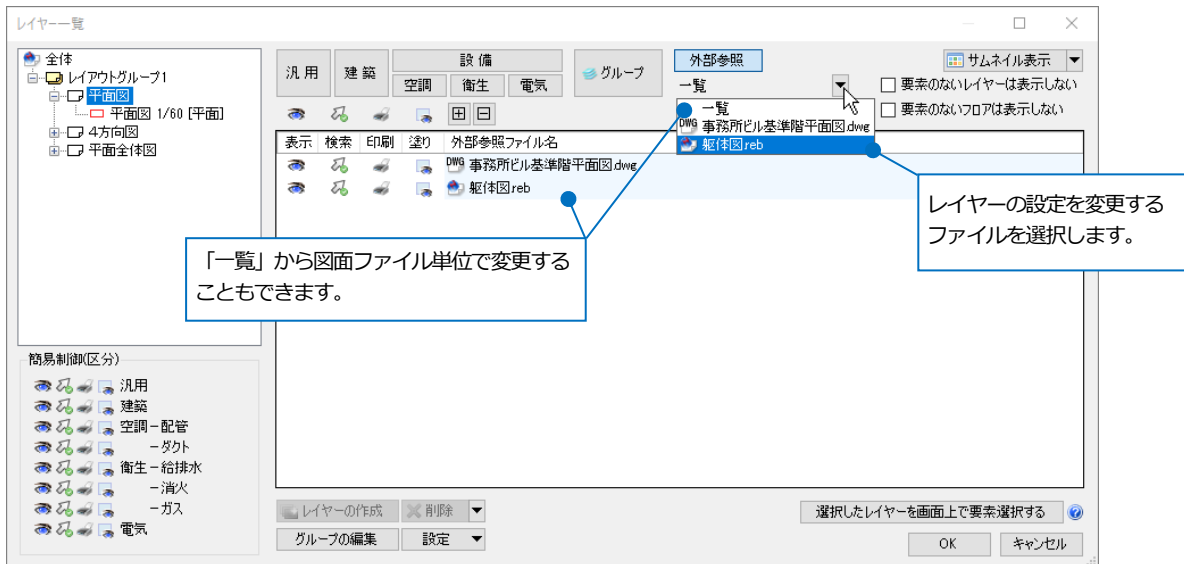
外部参照はレイヤーから表示・検索・印刷・塗りの変更ができます。
また色、太さ、線種の変更もすることができます。

表示・検索・印刷・塗りの設定

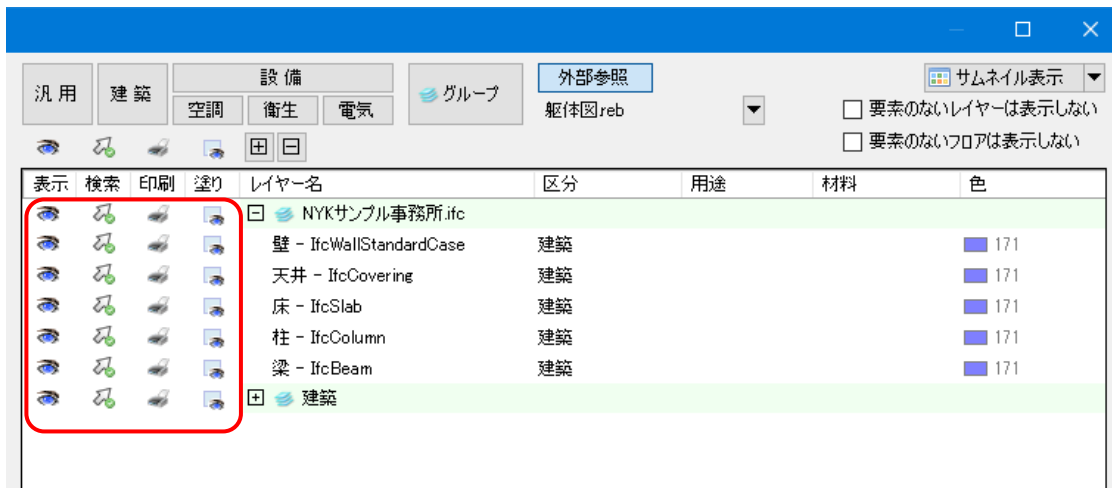
1 [表示]タブ-[レイヤー一覧]をクリックします。



2 [外部参照]をクリックし、「一覧」から外部参照図面を選択します。



3 外部参照図面のレイヤーの表示・検索・印刷・塗りの変更をします。



色、太さ、線種の設定

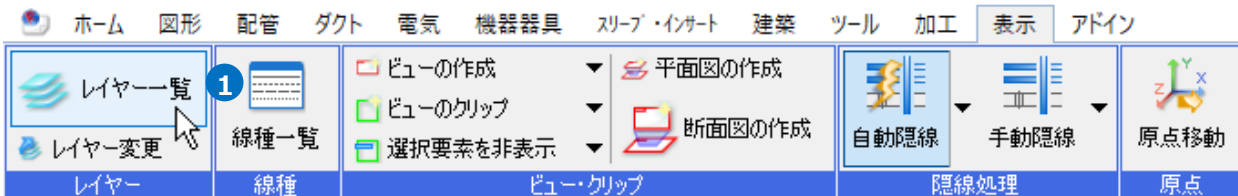
外部参照図面は以下の条件の時に色、太さ、線種をレイヤーから設定することができます。

色:[ホーム]タブ-[外部参照の設定]で[元図面の色]に設定

太さ:レイヤー太さ

線種:レイヤー線種

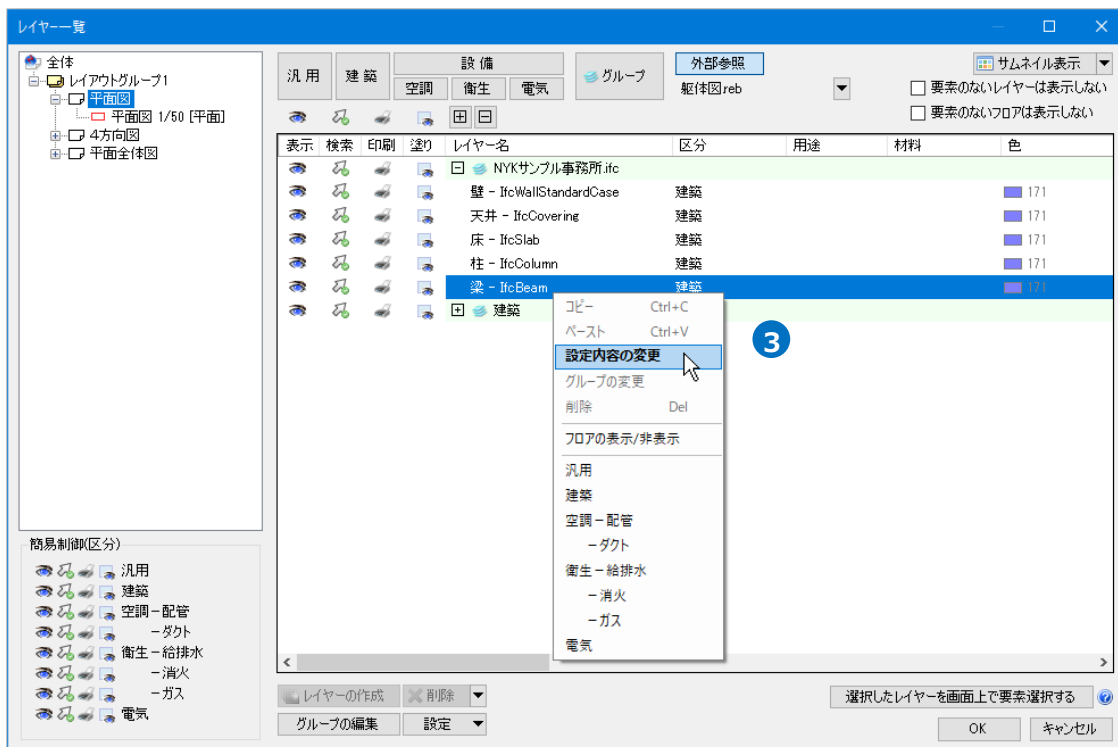
1 [表示]タブ-[レイヤー一覧]をクリックします。



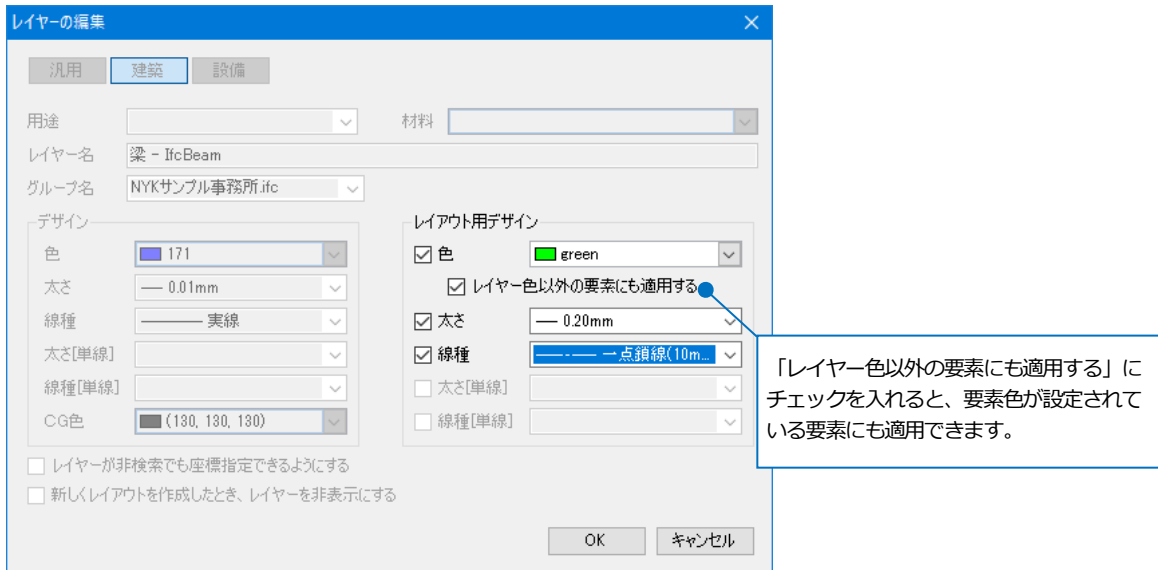
2 [外部参照]をクリックし、「一覧」から外部参照図面ごとのレイヤーを表示します。



3 レイヤーを選択し、右クリックをしてコンテキストメニューの[設定内容の変更]をクリックします。



4 [レイアウト用 (ビュー用) デザイン]の色、太さ、線種にチェックを入れ、設定します。



● 補足説明

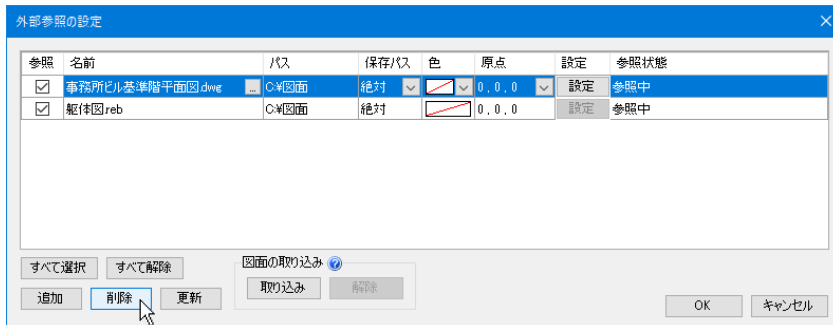
DWG/DXF/JWW ファイルをレイヤー太さ、レイヤー線種にするには、レプロでファイルを開き、プロパティから切り替えます。レプロ図面として保存後、外部参照に設定します。

● 補足説明

外部参照図面更新時のレイヤー設定について

外部参照元で設定したレイヤーの状態が保存されます。そのため、外部参照図面でレイヤーの状態を変更し、更新しても外部参照元では設定は変更されません。

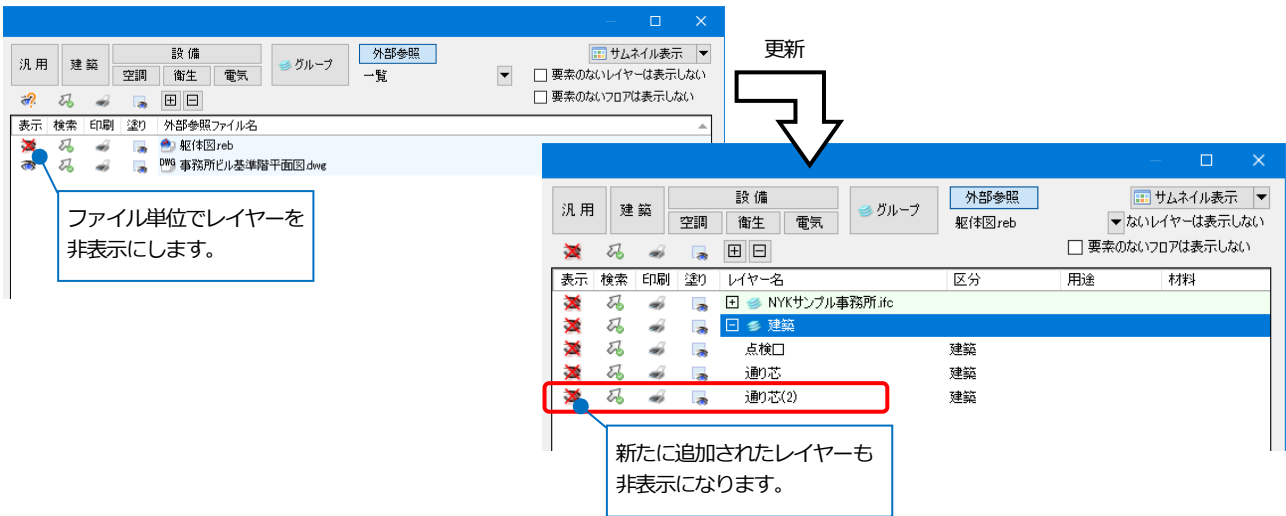
外部参照で設定している DWG/DXF/JWW ファイルのレイヤーの表示状態を更新し、その内容を外部参照元でも反映したい場合は、[外部参照の設定]からファイルを削除し、再度設定し直します。



MEMO
外部参照の更新方法については、P.15 を参照してください。

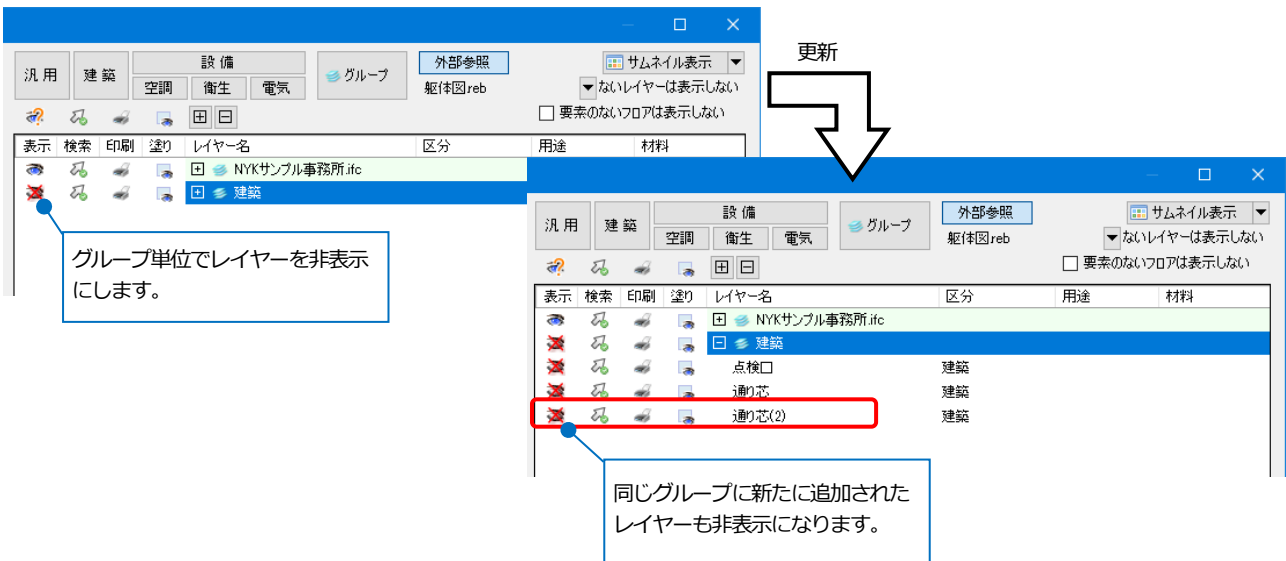
・ファイル単位で非表示にしている場合

外部参照元図面にてファイル単位でレイヤーを非表示にしている場合、外部参照図面で新たにレイヤーを追加し、更新をすると外部参照元では追加したレイヤーも非表示になります。



・グループ単位で非表示にしている場合

外部参照元図面にてグループ単位でレイヤーを非表示にしている場合、外部参照図面で新たに同じグループにレイヤーを追加し、更新をすると外部参照元では追加したレイヤーも非表示になります。



MEMO

[レイヤー一覧]の[全体]を選択した状態でファイル全体を非表示にすると、外部参照元の図面上で参照図面を非表示にすることができます。

レイヤー一覧

全体

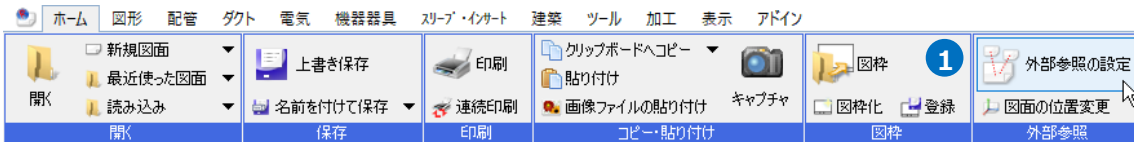
レイヤーの作成 削除

グループの編集 設定

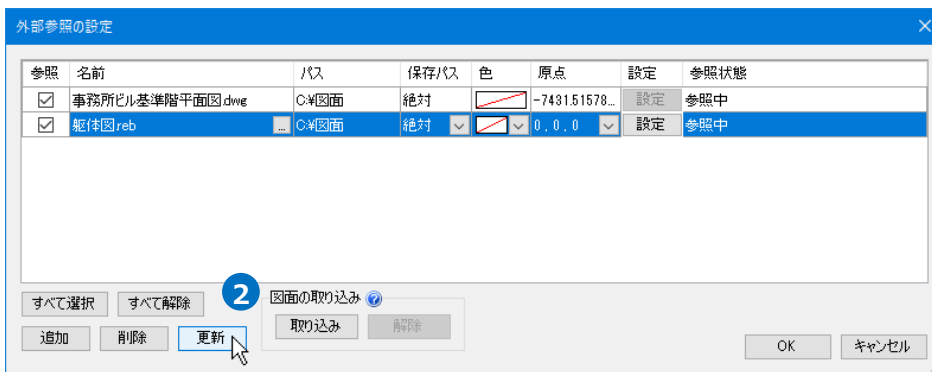
5.外部参照の更新

外部参照図面の内容が変更になった場合、[更新]をすると変更内容を反映できます。

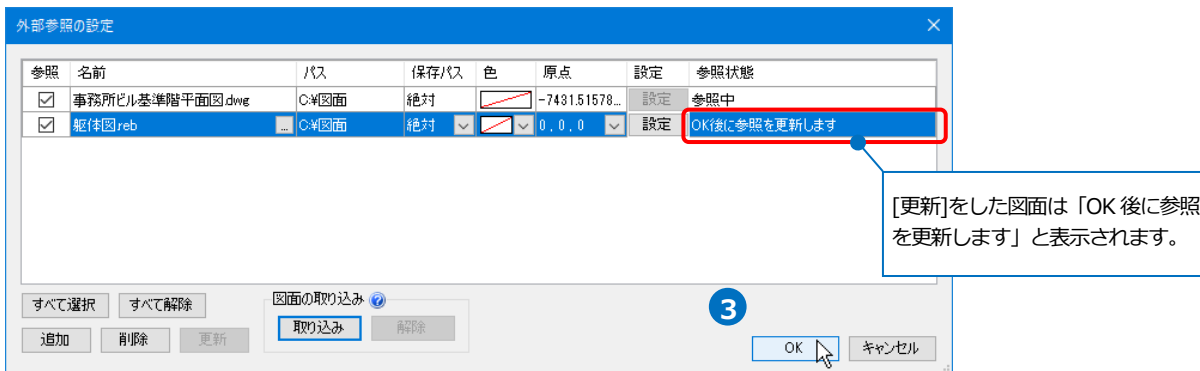
- 1 [ホーム]タブ-[外部参照の設定]をクリックします。



- 2 更新する図面名を選択し、[更新]をクリックします。



- 3 [OK]をクリックします。



- 補足説明

外部参照元の図面を開きなおすと、外部参照図面は自動更新されます。

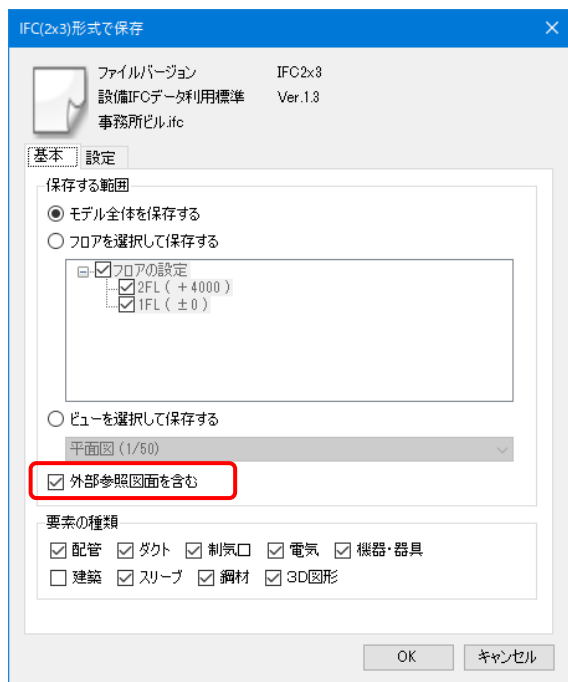
ファイルの参照を一時的に解除したい場合は、[参照]のチェックを外します。

6.外部参照に対応しているコマンド

チェックの切り替えで外部参照図面をコマンドの対象にできます。

[名前をつけて保存]([ホーム]タブ-[名前をつけて保存])

- IFC ファイルに保存する時に、「外部参照図面を含む」にチェックを入れると保存できます。
色を設定した場合は、画面の表示色で出力されます。

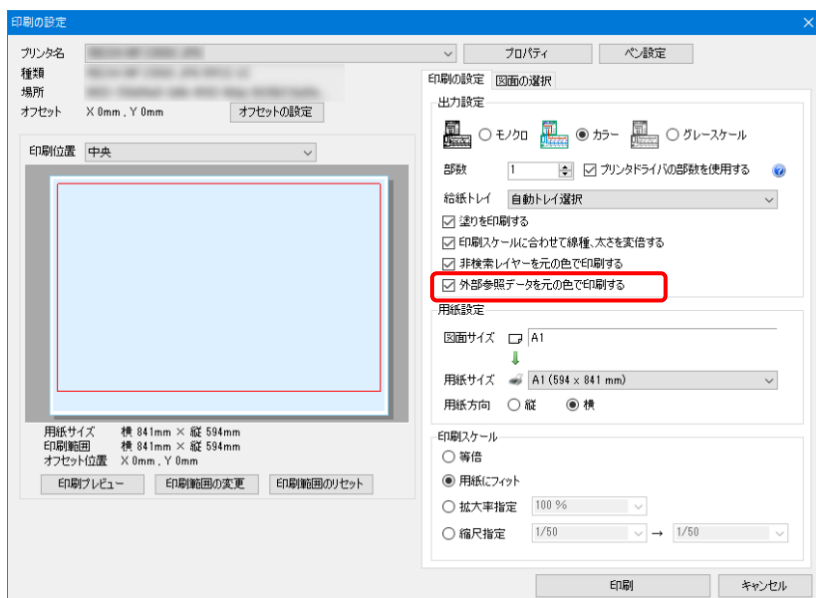


MEMO

- DXF/DWG/JWW ファイルへの保存の際は、レイアウト上に表示している要素を保存します。
色を設定した場合は、画面の表示色で出力されます。
- BE-Bridge ファイルには出力されません。

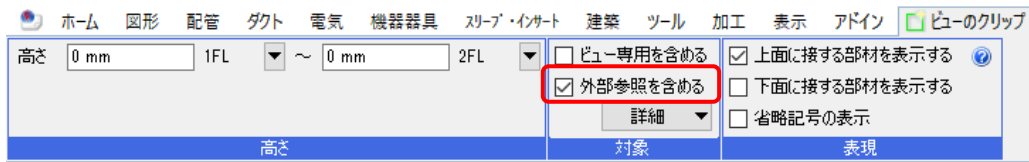
[印刷]([ホーム]タブ-[印刷])

カラーまたはグレースケールで印刷する時に「外部参照データを元の色で印刷する」にチェックを入れると画面の表示色に関わらず、元の色で印刷できます。チェックを外すと、表示色で印刷します。



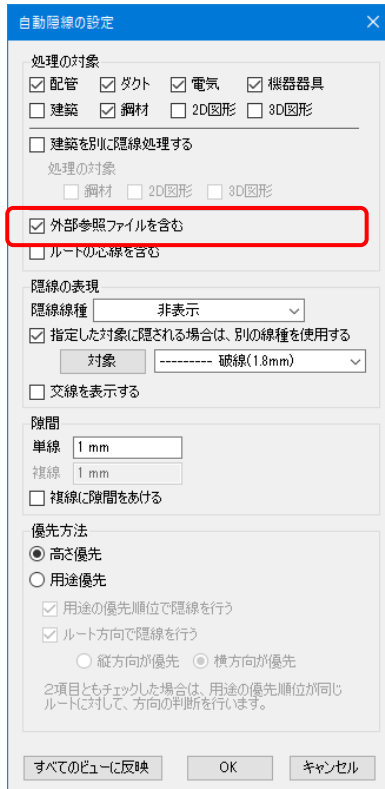
[クリップ]([表示]タブ-[ビューのクリップ])

「外部参照を含める」にチェックを入れると、クリップの対象になります。



[自動隠線]([表示]タブ-[自動隠線▼]-[自動隠線の設定])

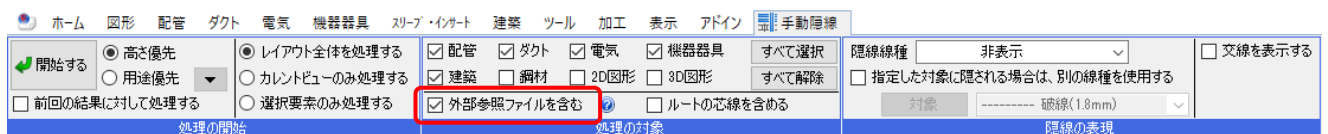
「外部参照ファイルを含む」にチェックを入れると、自動隠線処理の対象になります。



[手動隠線]([表示]タブ-[手動隠線])

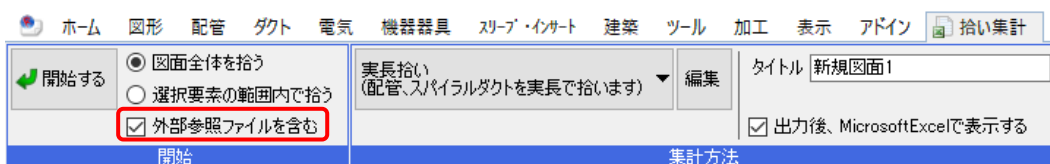
「外部参照ファイルを含む」にチェックを入れると、手動隠線処理の対象になります。

隠線処理をした内容はレブプロ図面には保存されません。



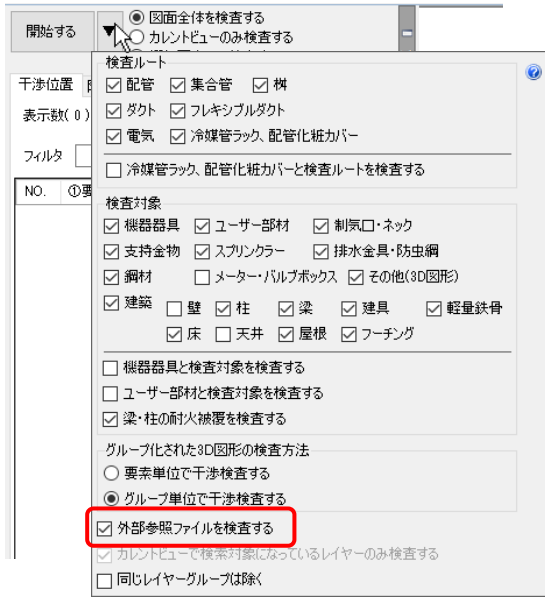
[拾い集計]([ツール]タブ-[拾い集計])

「外部参照ファイルを含む」にチェックを入れると、拾い集計の対象になります。



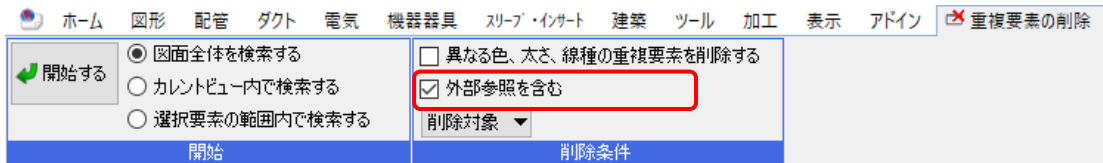
[干渉検査]([ツール]タブ-[干渉検査])

「外部参照ファイルを検査する」にチェックを入れると、干渉検査の対象になります。



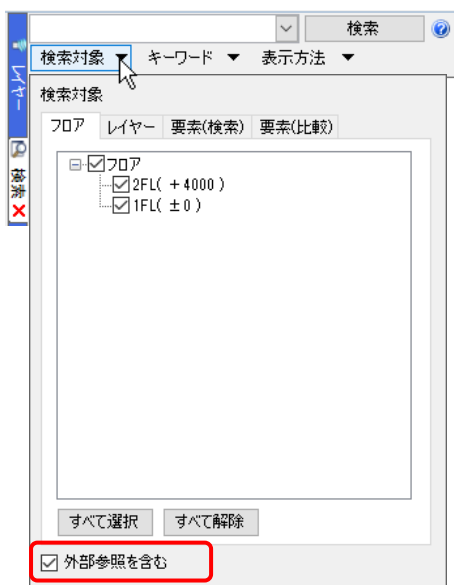
[重複要素の削除]([ツール]タブ-[重複要素の削除])

「外部参照を含む」にチェックを入れると、重複要素の検索の対象になります。



[検索]([表示]タブ-[パネル]-検索)

「外部参照を含む」にチェックを入れると、検索対象になります。



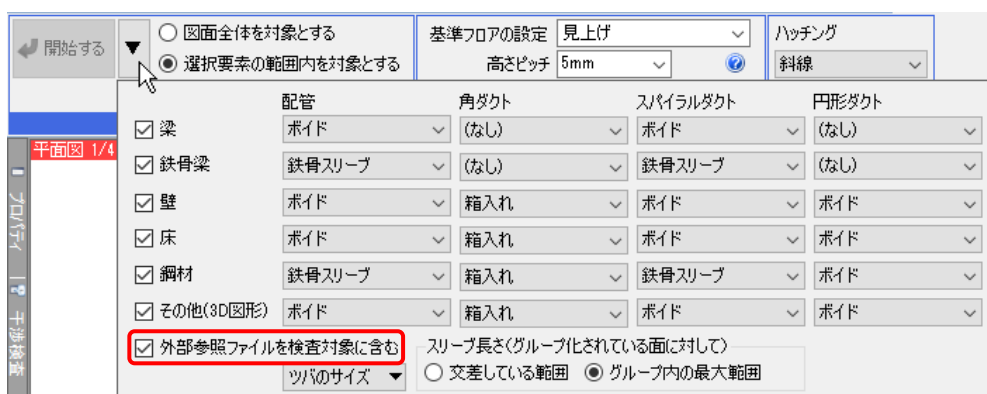
[システム管理]([表示]タブ-[パネル]-システム管理)

「外部参照を含む」にチェックを入れると、システム管理の対象要素になります。



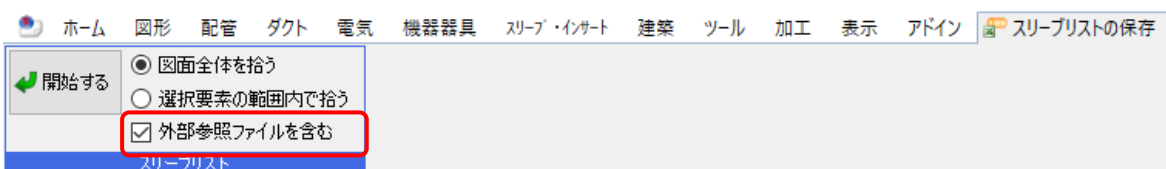
[スリーブの自動挿入]([スリーブ・インサート]タブ-[自動挿入])

「外部参照ファイルを検査対象に含む」にチェックを入れると、自動挿入の対象になります。



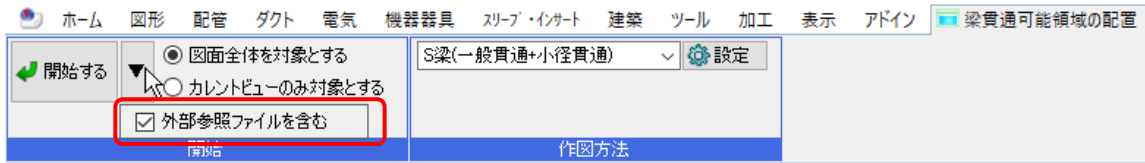
[スリーブリスト]([スリーブ・インサート]タブ-[スリーブリスト])

「外部参照ファイルを含む」にチェックを入れると、リスト出力の対象になります。



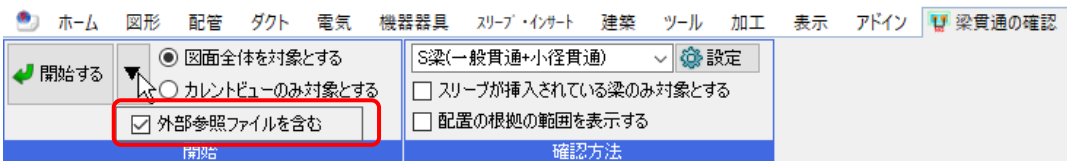
[梁貫通可能領域の配置]([スリーブ・インサート]タブ-[梁貫通可能領域の配置])

「外部参照ファイルを含む」にチェックを入れると、作図する対象になります。



[梁貫通の確認]([スリーブ・インサート]タブ-[梁貫通の確認])

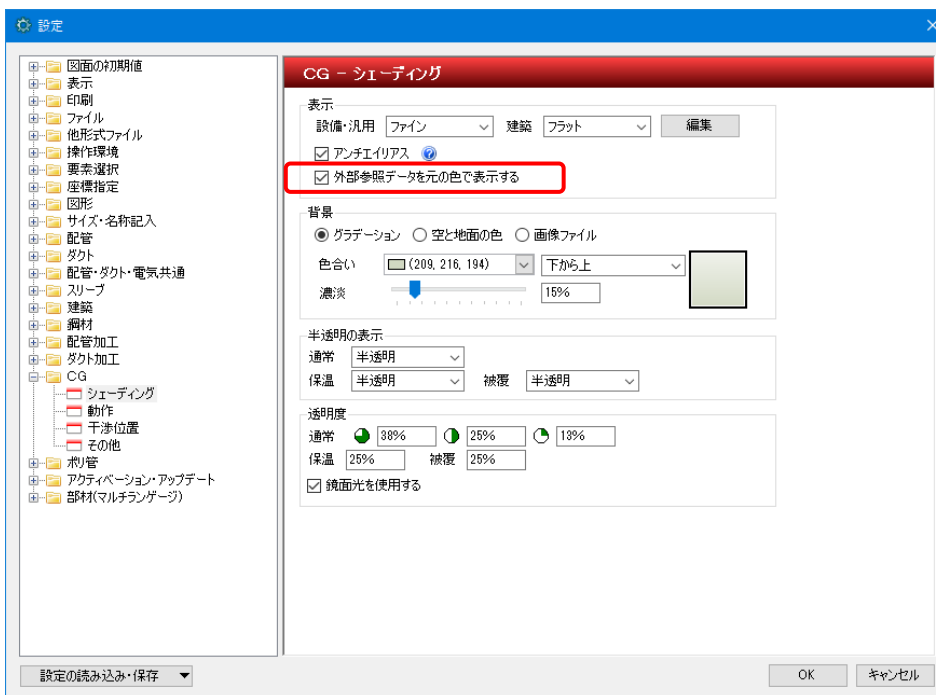
「外部参照ファイルを含む」にチェックを入れると、確認の対象になります。



● 補足説明

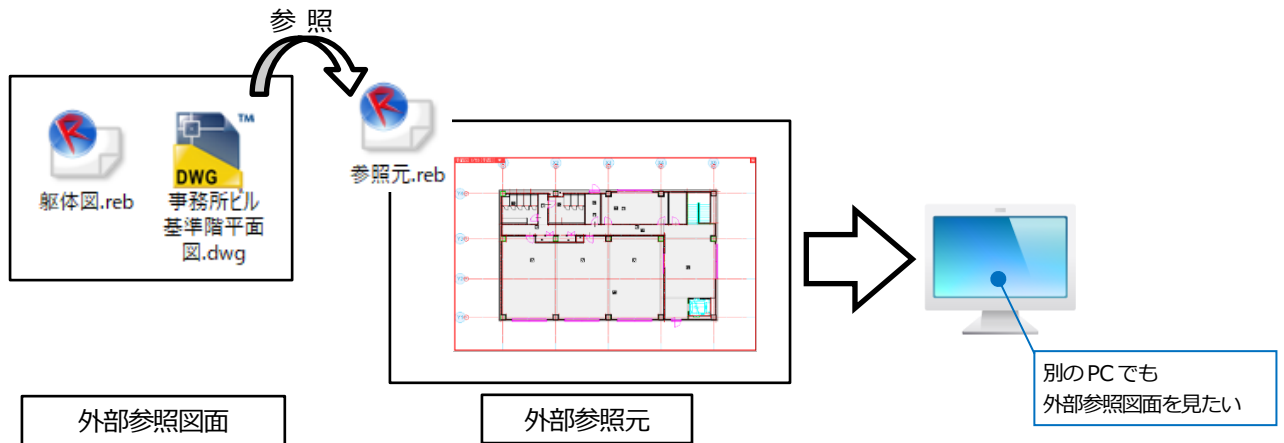
外部参照図面のCGの色は、

[設定]-[CG]-[シェーディング]で「外部参照データを元の色で表示する」にチェックを入れると、画面の表示色に関わらず、元の色で表示することができます。



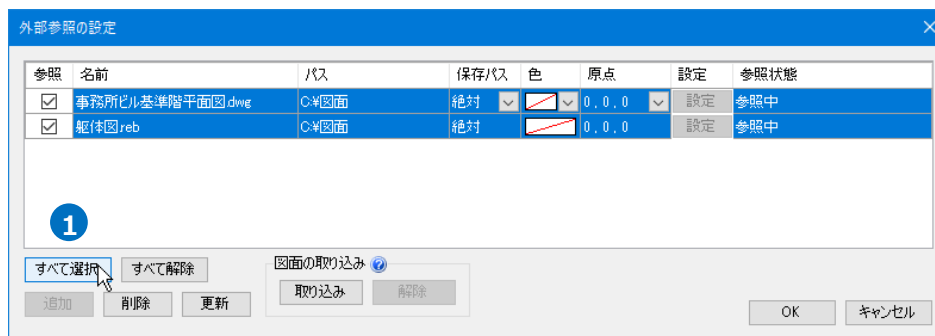
7.外部参照の受け渡し

外部参照を設定したレプロ図面を他の PC などに受け渡すには、外部参照図面を参照元図面に取り込みます。

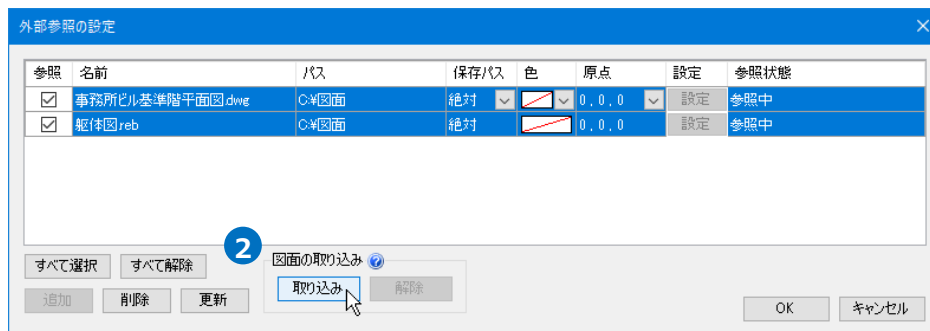


外部参照図面の取り込み

1 [ホーム]タブ-[外部参照の設定]から参照しているファイルを選択します。



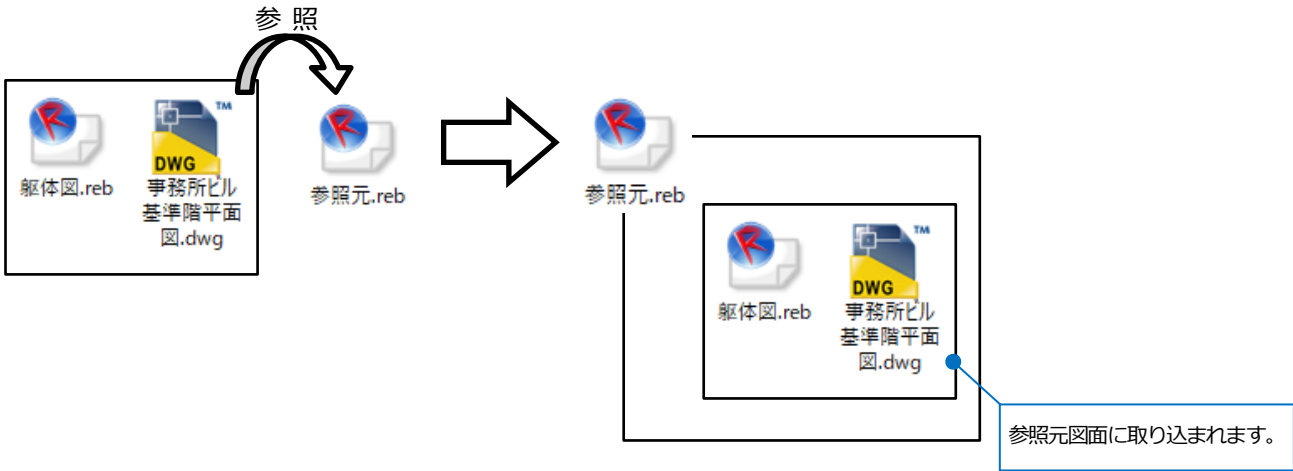
2 [取り込み]をクリックします。



3 [OK]をクリックすると、参照元図面に取り込まれます。

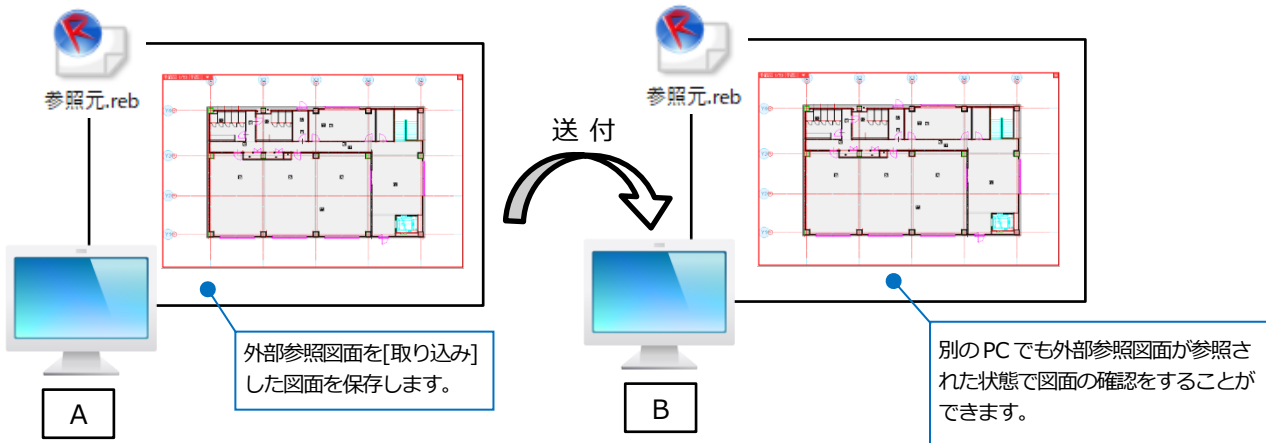


[取り込み]をした図面は「OK後に取り込みます」と表示されます。



参照元図面に取り込まれます。

4 参照元図面のファイルを保存し、他のPCなどに受け渡します。



外部参照図面を[取り込み]した図面を保存します。

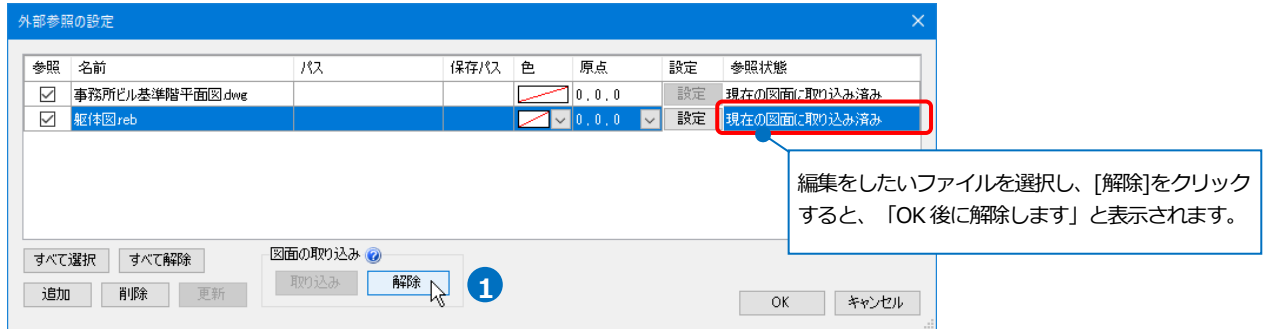
別のPCでも外部参照図面が参照された状態で図面の確認をすることができます。

外部参照図面の取り込みの解除

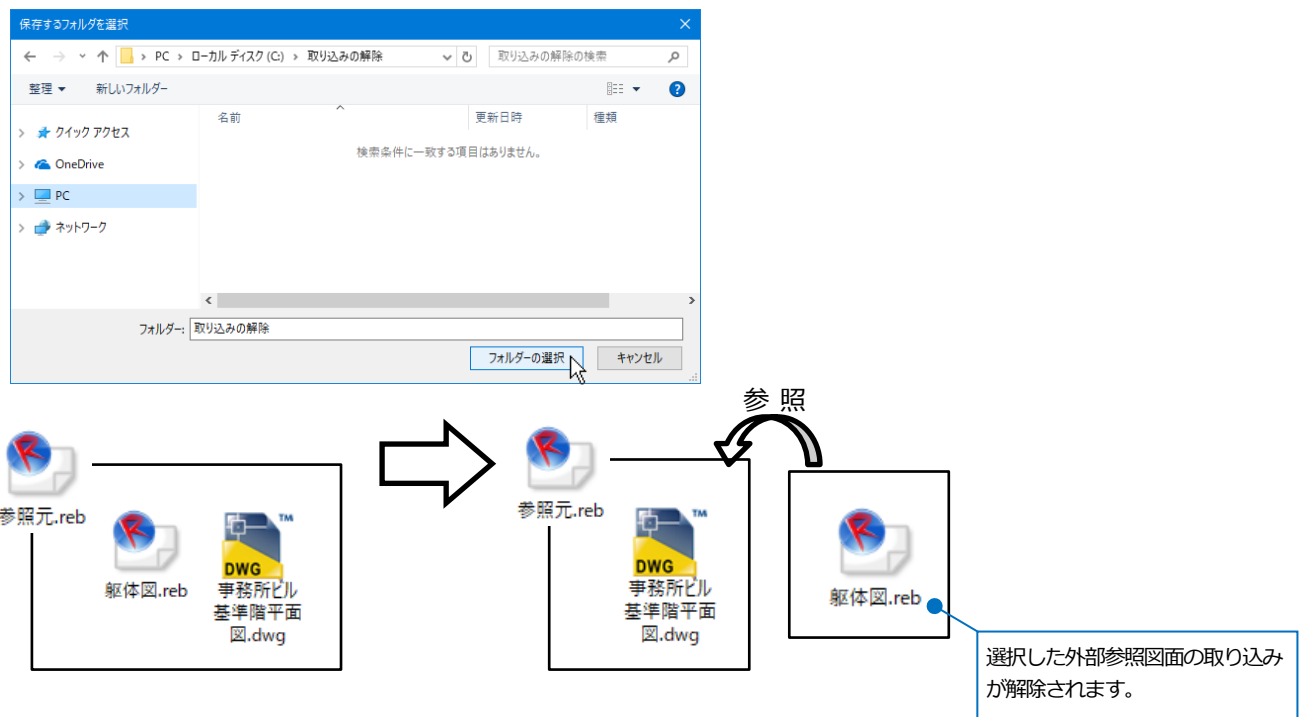
取り込み済みの外部参照図面を編集したい場合は、取り込みの解除をします。

※取り込みをした外部参照元の図面で直接編集することはできません。

- 1 [ホーム]タブ-[外部参照の設定]から編集をしたいファイルを選択し、[解除]をクリックします。



- 2 [OK]をクリック後、外部参照図面を保存するフォルダを指定すると、指定したフォルダ内に外部参照図面が保存され、取り込みの状態が解除されます。



- 3 保存したファイルを編集し、外部参照元の図面で更新します。

